

～ひと手間かけて、美味しいお魚料理～
魚食普及推進事業 10/10(金)



川之江幼稚園で、魚食普及推進事業（魚のさばき方・料理教室、お魚ざんまいランチ）が行われました。参加した園児と保護者 50 人は、魚のさばき方やつみれの作り方などを学んでいました。その後、自分たちで調理した魚料理を食べ、「おいしい！」など歓声をあげながら、舌鼓を打っていました。

～名曲に耳を傾けて～
ピアノ&トーク名曲コンサート 10/12(日)



市民会館川之江会館で、川之江中学校第9回卒生らでつくる辰巳会が主催して「松本博光ピアノ&トーク名曲コンサート」が開催されました。このコンサートは、東日本大震災・広島土砂災害支援チャリティとして上演されました。来場者は、クラシックや映画音楽の名曲を聴き、ピアノの世界に引き込まれていました。

～消防団富郷分団～
全国消防操法大会に出場！ 10/7(火)



消防団富郷分団が、第24回全国消防操法大会小型ポンプの部に県代表として出場することを報告するため、市長を表敬訪問しました。市長は「全国大会での活躍は、他の消防団の励みになります。堂々と胸を張って頑張ってください」と激励しました。

第8回 JKJO 全日本ジュニア
空手道選手権大会出場報告 10/10(金)



敬心館（武村敬介館長）の中之庄小学校2年妻鳥ゆららさん（写真左）、土居小学校3年妻鳥碧結さん（写真中央）、三島西中学校2年妻鳥彩水さん（写真右）の3人が、東京都の国立代々木競技場第一体育館で行われる JKJO 全日本ジュニア空手道選手権大会へ出場することを報告するため市長を表敬訪問しました。

～地区コミュニティ協議会の進む道～
住民自治で地域力アップ 9/26(金)



福祉会館で地域コミュニティ活性化講演会が開催されました。これは、昨年6月に策定された地域コミュニティ基本計画に基づき、今年度3つのモデル地区（豊岡・川滝・蕪崎）を選定し行われる地域コミュニティ活性化事業の一環で、中川幾郎先生（帝塚山大学名誉教授）による講演会が開催されました。

～障がいのある子供への支援～
寄付金の贈呈 9/30(火)



市長室で宇摩ゴルフ協会による寄付金贈呈式が行われました。これは、障がいのある幼児・児童・生徒の支援に役立ててもらおうと、同協会が特別支援教育支援チャリティゴルフ大会を開催して、協賛企業や参加者から集められた335万円の浄財を、本市や福祉・教育関係団体などへ寄付されたものです。

～郷土の味を伝えたい～
アレンジ料理コンテスト 10/4(土)



中之庄公民館で川之江味噌（いりこ味噌）アレンジ料理コンテストが開催されました。コンテストでは、市内外から料理愛好家4チームが参加し、決められた条件のもと、各チームがテーマを決め、シューマイやアイスクリーム、チャーハンなど、川之江味噌を使ったオリジナル料理を調理しました。

～荣誉をたたえて～
第69回国民体育大会出場者激励会 10/5(日)



第69回国民体育大会長崎大会に本市から愛媛県代表として出場する選手への激励会が、伊予三島運動公園体育館で行われました。本市からは、30人の選手が出場します。出場選手を代表して、宮崎邦弘さん（フェンシング）が決意表明を行いました。

ニュージーランド
ホームステイ結団式 9/17(水)



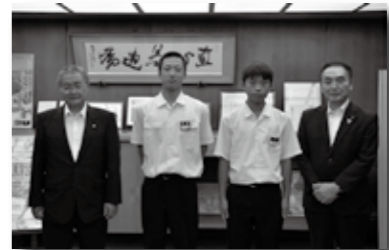
福祉会館4階多目的ホールで、四国中央市中学生海外派遣事業でのニュージーランドホームステイ団の結団式が行われました。今年で9回目となるこの事業は、市内の中学生から希望者を募り、総勢19人が選ばれ、ニュージーランドのホームステイへ向かいます。

～空中散歩を体験～
パラグライダー無料体験会 9/21(日)



新宮町上山の塩塚高原でパラグライダー無料体験会が開催されました。これは、自然豊かな秋の眺めを楽しんでもらおうと、毎年、塩塚スカイクラブ（鈴木邦雄会長）が主催して行われているもので、参加した約30人は、同クラブの操作指示のもと、数十秒間の空中散歩を楽しんでいました。

市内の中学生2人が愛媛県の
代表選手として全国大会へ出場 9/24(水)



川之江北中学校3年松本健太郎君（写真左）が、第9回15アンダー全国KB野球秋季大会に愛媛県選抜選手（5番サード）として、三島東中学校1年篠原黎陽君（写真右）が、第45回ジュニアオリンピック陸上競技大会100メートル走中学1年の部に愛媛県代表選手として、出場することを市長に報告しました。

～事故に遭わないために～
高齢者交通安全お達者大会 9/26(金)



川之江町の宇摩自動車教習所で、宇摩交通安全協会川之江地区連合会による、第28回高齢者交通安全お達者大会が行われました。参加した川之江地区老人クラブ連合会の約130人は、歩行時の正しい道路の渡り方や交通安全〇×クイズなどで楽しく学び、交通安全意識の高揚を図りました。

市長の
ひとりごと



四国中央市長
篠原 実

テーマ
自転車

大抵の人は、自転車に乗れるだろう。子どもの頃が一番の乗り物は、今も昔も変わらないのではないかなと思う。

11月に市主催のサイクリング大会があるので、自分も少しでも自転車で参加しようと思つて、自転車を買ってきた。さあ、乗って走ろうと思ったら、なかなかうまく走れない。太ももと膝の力が落ちているので、ペダルから車輪に力が伝わらない。自転車というのは二輪車である。じつとしてみたら倒れるのである。中小企業が資金繰りに毎月苦労することを自転車操業と言われる（自分も、かつてそのことは、いやというほど身にしみて経験している）が、うまくいったものである。

最初、車道を走っていたら、車とすれ違う時、自分でもおかしいくらいハラハラどきどきしていた。国道11号バイパスは歩道が広いので、そこを走れば安全だとわかった。

ある土曜日に、バイパスを走って国道319号に入り、展望台あたりまで行こうとしたが、高速道路のトンネルの手前でダウンしてしまった。そこから、自転車をひっぱりながら行けるところまで行こうとしたが、権現トンネルを越え、橋を越えて、展望台が見える付近で、下り坂の誘惑に負けて、帰ってしまった。

下りは、快適そのものである。汗をかいている身体が寒いくらいである。本番も、こんなものだろうかと自分を納得させてはみたが、もう一度は、自転車をなだめすかして、法皇トンネルまでは、歩いてでもチャレンジしようと思つている。

自転車のガイドブックには、自転車は楽しく乗るものである。無理をするのは良くないと書かれていた。

それを心の支えにしているのである。